

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場会社名 ケル株式会社

上場取引所 JQ

コード番号 6919 URL <http://www.kel.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高橋 和良

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 矢ヶ崎 晶夫

TEL 042-374-5810

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	5,304	△9.1	215	77.8	229	66.4	128	—
21年3月期第3四半期	5,832	—	121	—	137	—	△41	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	8.69	—
21年3月期第3四半期	△2.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	10,924	7,989	73.1	540.56
21年3月期	10,243	7,902	77.1	534.64

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 7,989百万円 21年3月期 7,902百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	4.00	—	2.00	6.00
22年3月期	—	2.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	3.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,050	△3.7	250	1,182.4	260	847.3	140	—	9.47

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 15,486,000株 21年3月期 15,486,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 705,695株 21年3月期 704,745株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 14,780,741株 21年3月期第3四半期 14,784,396株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界同時不況のなか、中国を始めとする一部の新興国の需要は回復基調にあるものの、米国・欧州の景気は依然低迷し、総じて輸出産業の不振が続く状況にありました。一方、デフレ懸念を背景に安売り競争に拍車がかかり、企業業績は不安を抱えたまま厳しい状況下で推移し、個人消費は雇用情勢や所得環境の改善が見られず引き続き低迷いたしました。

当社グループをとりまくエレクトロニクス業界におきましては、新政権でのエコポイントの継続は決まりましたが、厳しい労働環境の影響を受け、個人消費は儉約志向が強く、加えて為替の円高傾向による輸出不振によって企業収益の回復が遅れる先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の下、当社グループは高性能・高機能化する製品需要に対応するため、遊技市場向けに使用されていた比較的メモリ容量が小さいICパッケージ（SOP、SSOP）に代わり、取り扱いが容易なLGA用に54極コネクタ、環境問題の省エネ対応としてLEDを実装した基板モジュールを接続するコネクタを開発いたしました。

また、生産体制の合理化による経費の削減、設備投資抑制による減価償却費の削減等、経営の合理化に努めるとともに、新市場の開拓を推進してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は53億4百万円（前年同期比9.1%減）、利益面につきましては営業利益2億15百万円（同77.8%増）、経常利益2億29百万円（同66.4%増）、四半期純利益1億28百万円（前年同期は41百万円の純損失）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（1）資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末における総資産は前連結会計年度末に比べ6億80百万円増加し、109億24百万円となりました。これは、機械装置及び運搬具の減少額1億42百万円があったものの、受取手形及び売掛金の増加額6億25百万円、原材料及び貯蔵品の増加額1億47百万円等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ5億93百万円増加し、29億34百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金の増加額5億28百万円等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ86百万円増加し、79億89百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ、4.0ポイント下降し、73.1%となりました。

（2）キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ76百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末には12億71百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は4億82百万円となりました。これは、売上債権の増加額6億26百万円があったものの、仕入債務の増加額4億93百万円、減価償却費4億77百万円及び税金等調整前四半期純利益2億24百万円の計上があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は2億44百万円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出2億19百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は1億62百万円となりました。これは、短期借入金の減少額1億円及び配当金の支払額57百万円があったこと等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期累計期間の業績を勘案し、平成21年11月5日に公表いたしました通期の業績予想（連結・個別）を修正いたします。なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日（平成22年2月5日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関して、実地たな卸を省略し、第2四半期連結会計期間末決算に係る実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,271,051	1,194,422
受取手形及び売掛金	3,272,159	2,646,288
商品及び製品	301,903	267,050
仕掛品	36,932	18,453
原材料及び貯蔵品	442,910	295,302
その他	276,506	251,636
貸倒引当金	3,412	2,729
流動資産合計	5,598,051	4,670,425
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,108,310	1,156,910
機械装置及び運搬具(純額)	1,298,264	1,441,227
工具、器具及び備品(純額)	327,772	314,466
土地	730,774	730,774
有形固定資産合計	3,465,121	3,643,379
無形固定資産	55,743	62,938
投資その他の資産		
投資有価証券	582,221	542,885
その他	1,223,064	1,323,722
投資その他の資産合計	1,805,285	1,866,607
固定資産合計	5,326,151	5,572,924
資産合計	10,924,202	10,243,350
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,443,170	915,056
短期借入金	450,000	550,000
1年内償還予定の社債	300,000	300,000
未払法人税等	12,423	-
賞与引当金	157,258	102,288
その他	292,505	210,454
流動負債合計	2,655,357	2,077,799
固定負債		
退職給付引当金	199,167	182,833
その他	79,978	79,978
固定負債合計	279,146	262,812
負債合計	2,934,504	2,340,611

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,000	1,617,000
資本剰余金	1,440,058	1,440,058
利益剰余金	5,116,763	5,047,322
自己株式	164,583	164,419
株主資本合計	8,009,237	7,939,960
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,899	29,116
為替換算調整勘定	7,640	8,105
評価・換算差額等合計	19,539	37,221
純資産合計	7,989,698	7,902,739
負債純資産合計	10,924,202	10,243,350

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	5,832,145	5,304,047
売上原価	4,673,630	4,074,327
売上総利益	1,158,514	1,229,720
販売費及び一般管理費	1,037,419	1,014,369
営業利益	121,095	215,350
営業外収益		
受取利息	1,533	1,247
受取配当金	16,879	15,420
助成金収入	-	8,179
為替差益	4,888	-
その他	9,151	8,319
営業外収益合計	32,453	33,168
営業外費用		
支払利息	10,223	7,431
支払手数料	4,893	5,303
為替差損	-	6,310
その他	672	216
営業外費用合計	15,789	19,262
経常利益	137,759	229,256
特別利益		
貸倒引当金戻入額	260	-
投資有価証券売却益	35,315	-
特別利益合計	35,576	-
特別損失		
固定資産売却損	708	-
固定資産除却損	2,783	2,050
たな卸資産評価損	6,028	-
投資有価証券評価損	72,616	-
関係会社株式評価損	17,972	3,066
特別損失合計	100,110	5,116
税金等調整前四半期純利益	73,225	224,139
法人税、住民税及び事業税	18,198	7,922
法人税等調整額	96,986	87,652
法人税等合計	115,185	95,574
四半期純利益又は四半期純損失()	41,959	128,565

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	73,225	224,139
減価償却費	621,821	477,891
貸倒引当金の増減額(は減少)	260	683
賞与引当金の増減額(は減少)	102,880	54,973
退職給付引当金の増減額(は減少)	16,600	16,334
受取利息及び受取配当金	18,413	16,668
支払利息	10,223	7,431
支払手数料	4,893	5,303
為替差損益(は益)	5,674	279
固定資産売却損益(は益)	708	-
固定資産除却損	2,783	2,050
投資有価証券売却損益(は益)	35,315	-
投資有価証券評価損益(は益)	72,616	-
関係会社株式評価損	17,972	3,066
売上債権の増減額(は増加)	217,189	626,047
たな卸資産の増減額(は増加)	180,672	201,105
仕入債務の増減額(は減少)	122,944	493,194
その他	14,408	15,453
小計	958,975	426,071
利息及び配当金の受取額	18,807	16,516
利息の支払額	8,287	5,466
法人税等の還付額	-	46,665
法人税等の支払額	103,112	1,073
営業活動によるキャッシュ・フロー	866,383	482,713
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	579,397	219,071
有形固定資産の売却による収入	1,500	-
投資有価証券の取得による支出	186,435	21,088
投資有価証券の売却による収入	99,138	-
関係会社出資金の払込による支出	-	15,000
関係会社の整理による収入	-	7,516
貸付けによる支出	350	-
貸付金の回収による収入	6,162	4,927
保険積立金の積立による支出	73,120	35,258
保険積立金の払戻による収入	76,891	35,279
その他	1,033	1,350
投資活動によるキャッシュ・フロー	656,644	244,045

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	50,000	100,000
自己株式の取得による支出	721	164
配当金の支払額	114,088	57,021
その他	4,893	5,303
財務活動によるキャッシュ・フロー	169,703	162,489
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,303	451
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	24,731	76,629
現金及び現金同等物の期首残高	952,642	1,194,422
現金及び現金同等物の四半期末残高	977,374	1,271,051

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

当社グループは、コネクタの専門メーカーとして、同一のセグメントに属するコネクタの製造・販売を行っており、当該事業以外の事業の種類がないため、該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計額に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。